

歯科材料3 義歯床材料
管理医療機器 義歯床用アクリル系レジン 70824000

松風ポアーレジン

【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

本材は、メタクリル酸エステルの単量体及び重合体を主成分として、流し込み法(石こう埋没法、寒天埋没法、シリコンコア法)によって義歯床を作製するために用いる材料である。粉の種類であるポアーレジンは石こう埋没法、寒天埋没法、ポアーレジンPはシリコンコア法に用いられる。

本材は、粉及び液より構成される。

1) 成分

| 構成 | | 性状 | 成分 |
|----|---------|----|-----------------------------|
| 粉 | ポアーレジン | 粉 | PMMA、MMA - EMA 共重合体、着色材、その他 |
| | ポアーレジンP | 粉 | PMMA、MMA - EMA 共重合体、着色材、その他 |
| 液 | | 液 | MMA、その他 |

粉の色調: ポアーレジン 3色(2R、3、U3)

ポアーレジンP 3色(2R、3、U3)

- 2) 原理: 本材は常温重合レジンで、粉液を混合することにより重合硬化する。硬化時に加温や加圧条件を付加して重合性を向上させる。

【使用目的又は効果】

義歯床の作製に用いる。

【使用方法等】

[本材と併用する材料]

- 1) 歯科用硬質石こう及び埋没法石こう:
「松風モデルストーン」「ポアープラスチック」
- 2) 石こう分離材: 「ポアーバニッシュ」
- 3) 歯科複模型用寒天印象材: 「デュブリゲル」
- 4) 歯科複模型用ゴム質弾性印象材料: 「松風ラボシリコン」

[本材に使用する機械及び器具]

- 1) 歯科技工用重合装置
水温を50以上で保温又は50以上に加温することが可能であり、且つ0.2~0.4MPaの加圧が可能な歯科技工用重合装置「フィットレジン マルチキュア」
- 2) フラスコ
寒天埋没法用
口ウ義歯を寒天で埋没する際に使用する器具「ポアーレジン寒天用フラスコ」
石こう埋没法用
口ウ義歯を石こうで埋没する際に使用する器具「石こう用ゴムフラスコ」
- 3) 歯科技工用重合装置の重合温度と時間
本材を重合硬化させるための標準的な重合温度と時間は次のとおりです。なお、重合温度及び時間は歯科技工用重合装置の仕様に応じて変更することがあります。

歯科技工用重合装置の標準的な重合温度と時間

| 義歯製作方法 | 重合温度と時間 |
|---------------------|---------|
| 流し込み法(寒天埋没法・石こう埋没法) | 50, 20分 |
| 流し込み法(シリコンコア法) | 50, 10分 |

【使用方法】

- 流し込み法(寒天埋没法・石こう埋没法、シリコンコア法)
- 1) 通法に従い口ウ義歯の埋没操作を行い、寒天、石こう又はシリコンでコアを作製します。脱口後、レジン歯を用いる場合は、本材との接合面に本材の液、又は接着助材を塗布します。
 - 2) 粉と液を9g:5mLの割合で混和器に計量します。付属の粉量計、液量計で粉1杯(9g)に対して液5mLです。
 - 3) 液、粉の順に混和器に入れ、スパチュラでゆっくりと攪拌しながらバイブレーターで脱泡します。
 - 4) 混和終了後、注入孔から混和物を注入し、排気孔から余剰の混和物が出てくるまで連続して流し込みます。
 - 5) 流し込み終了後、しばらく(2~3分程度)静置すると、注入孔の混和物表面の艶がなくなり、皮を張ったような状態となります。この時に歯科技工用重合装置に入れて重合を行います。重合条件は以下のとおりです。
 - ・寒天埋没法、石こう埋没法(ポアーレジンを使用した場合) 0.2~0.4MPa、50で20分間重合を行います。
 - ・シリコンコア法(ポアーレジンPを使用した場合) 0.2~0.4MPa、50で10分間重合を行います。
 - 6) フラスコ等が室温になるまで待ち、割り出しを行います。
 - 7) スプルーを除去して、通法に従い修整、研磨を行います。
 - 8) 完成した義歯は、乾燥による変形を防ぐため、口腔内に装着するまで水中で保管します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 液は揮発性であるため、使用後、速やかに蓋を閉めること。
- 2) レジン層の厚い場合は、急加熱を行うと気泡が発生する場合がありますため注意すること。
- 3) 重合した義歯床は口腔内に装着するまで水中で保存し、残留モノマーを溶出させること。
- 4) 人工歯の床との結合部分がワックス等で汚染されていると結合力が低下するので、熱湯で流して本材の液で結合部を拭う等完全に除去すること。
- 5) 本材の粉と液は必要量だけを取り出して使用すること。なお、余剰分は元に戻さないこと。
- 6) 取り出した粉液は、速やかに使用し、長時間放置しないこと。
- 7) 陶歯を使用する場合は、適切な維持装置又は維持孔が設けられていることを確認すること。スルフォン樹脂製レジン歯を使用する場合は、維持孔の付与、レジン歯指定の接着材塗布など、各々の添付文書等に従って使用すること。

【使用上の注意】

- 1) 重要な基本的注意
本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
本材又はメタクリル酸系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
本材の液成分にはメタクリル酸系モノマーを含んでいるため、蒸気を吸入しないこと。万一、気分が悪くなった場合は、新鮮な空気の中で暖かくして休憩すること。また、頭痛、めまい、吐き気、呼吸困難等の重篤な症状を伴う場合は、すぐに医師の診察を受けること。
本材の液は可燃性であるため、必ず火気を選んで使用すること。
本材を使用する際には、適切な換気(1時間当たり数回の換気)がなされている場所で使用すること。

本材を用いた硬化物の研磨作業等の際には、粉塵による人体への影響を避けるために、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスク等を使用すること。

本材の液又は液と粉の混和物は皮膚に付着させたり、目に入らないよう注意すること。皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿などで拭いた後、流水で洗浄すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

【保管方法及び有効期間等】


[保管方法]

- ・本材は高温、多湿、直射日光及び火気を避けて、室温(1～30)、暗所で保管する。
- ・本材は、同一保管庫に大量に保管しないこと。
- ・本材の使用場所及び保管場所には消火装置を備えること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

[当社データによる]

(例  YYYY-XX は 使用期限 YYYY 年 XX 月末日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

| | |
|--------|------------------------------|
| 製造販売業者 | 株式会社 松風 |
| 住所 | 〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11 |
| 電話番号 | 075-561-1112 |